

## 泣き入りひきつけ（<sup>ふんど</sup>憤怒けいれん）

### <どんな症状>

生後6か月から2歳ぐらいまでの乳児が激しく泣いた時などに、しだいに顔色が紫色になり、息を止めて意識を失い、けいれんをおこしますが、すぐに声が出て呼吸が戻り元気になることを泣き入りひきつけといいます。

### <どんな病気>

病気ではないので後遺症の心配はありません。原因は、激しく泣き過ぎたために、息を吐いた状態で呼吸を止めてしまい、一時的に酸素が脳に行かなくなってしまうためにおこります。怒ったり、泣きわめいたりしたときにおきるので別名「憤怒けいれん」ともいわれています。

### <手当て>

2歳を過ぎるとあまりおこらなくなりますが、念のためにお医者さんを受診することをおすすめします。

